

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)京都エミナース立体駐車場新築工事 | 階数 | 地上6F |
| 建設地 | 京都府京都市西京区大原野東境谷町二丁目4番1、4番2 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火指定なし | 平均居住人員 | 3人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年2月 予定 | 評価の実施日 | 2019年7月24日 |
| 敷地面積 | 12,002.17 m ² | 作成者 | 石山稔記 |
| 建築面積 | 1,328.95 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 7,602.35 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|---|---|--|
| 総合 外観には落ち着いた色のある色を採用し、壁面緑化も取り入れることで、周囲の街並みに調和するように努めました。 | | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮しました。 | Q3 室外環境(敷地内) 周囲の街並みに調和した良好な景観を形成するように努めました。 |
| LR1 エネルギー 太陽光発電設備を設け、再生可能エネルギー利用に配慮しました。また高効率なLED照明器具を採用しました。 | LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げが容易に分別しやすく、解体時にリサイクルしやすい設計としました。 | LR3 敷地外環境 適切な駐車台数を確保し、交通渋滞に配慮した車両出入口を計画している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される